



## 長野県佐久平総合技術高等学校

### 食品加工部

酒粕をアップサイクル ～カスを価値に 未来へ佐久咲け！～

酒米の栽培から日本酒の醸造・販売に取り組んでいます。その中で、日本酒造りの副産物として出る「酒粕」の需要が低迷しているという地域の課題を知り、食品ロスの削減と地域活性化を行うことを目的に活動をスタートしました。地元パン屋、洋菓子店さんの協力の下、商品化を達成！佐久市内11の蔵元すべての酒粕が、地域を盛り上げる資源となるように探し続けます！



## 岐阜県立岐山高等学校

### team 太陽電池ひろめ隊

太陽電池で世界を明るく!!

再生可能エネルギーの1つ「色素増感太陽電池」を研究しています。色素増感太陽電池は一般的なシリコン型太陽電池よりも作成時の環境負荷が小さいですが、発電率が低いのが課題です。そこで私たちは発電率を向上させるために日々研究をしています。色素増感太陽電池が実用化され使用する色素を廃棄食品から抽出すれば、ごみ問題の解決にもつながります。



## 岐阜県立八百津高等学校

### 自然科学部

アメリカザリガニから学ぶSDGs

学校近くのため池に生息するアメリカザリガニの腸とエラの中から、マイクロプラスチックを発見。アメリカザリガニは水生生物を捕食すると同時にエラ呼吸によってマイクロプラスチックを体内に取り込んでいたのです。アメリカザリガニが取り込んでいたマイクロプラスチックの正体は、樹脂用染色液で染色した形状から粉砕されたレジ袋であると推察しています。



## 愛知県立佐屋高等学校

### 科学部

自然循環を考えたスクミリングガイの防除

水田生態系を守るため、水辺に生息する生き物を中心に調査研究を行っています。近年、地域の多くの水田でスクミリングガイが出現するようになりました。スクミリングガイは田植え直後のイネを食害します。被害を増やさないために行動調査を行い、生物を利用した駆除法、殻の有効利用なども研究しました。環境学習教材で子供たちに水田に生きる生き物を紹介しています。



## 愛知県立安城農林高等学校

### 土壌研究研修班

土壌生物利用による循環型農業の研究

研究の目的は、都市部などの限られた空間の中で、窒素やリンなど肥料成分を逃さず、少ないエネルギーで循環させることです。枯渇が予測されるリンを根の残渣からシマミズを用いて循環させることを目標に実験、調査をしました。現在、①糞土を利用したより栄養価の高い野菜作り、②循環型農業の追求、③循環型社会実現に向けた広報活動に取り組んでいます。



## 三重県立四日市四郷高等学校

### 自然科学部

四日市四郷高校観察ルートガイドブックの作製 Part 1

学校のコシアカツバメの巣の観察、市内の河口のカニの生息調査、登山の魅力を探る研究等から、自然の魅力を伝えるプロジェクトに変更しました。対象エリアの生物生育状況をまとめてガイドブックにする作業で、最終的な狙いを「幼稚園の先生が幼稚園児と一緒に楽しめるもの」に定め、対象も身近な草花に限定し記載内容・まとめ方も工夫しました。SDGsの「15. 陸の豊かさを守ろう」、「4. 質の高い教育をみんなに」にも役立つものだと思います。





# 近畿

## 15 団体

## 滋賀県立長浜農業高等学校

### 園芸科 2年 野菜分野

滋賀・伊吹山の棚田から持続可能な生活の実現に向けて

棚田を舞台にサステイナブルな農業様式を確立したいと考えています。そこで、地域で栽培される「マコモ」や「マコモタケ」に着目。農業経営の手法である6次産業化から中山間地域の課題解決に有効だと考え取り組みました。「マコモ」・・・この植物のさらなる利用価値を高め、持続可能な農業から私たちの生活様式までも見いだせる活動へとつなげていきたいと思っています。



## 京都府立宮津天橋高等学校

### フィールド探究部① 丹POPO班

100年の木と1年の花 ～人との繋がりは永遠に～

丹後地域の資源への理解を深め、新たな価値を創造する活動を行っています。巨樹と在来種のタンポポについて紹介します。地表から130cmの高さの幹周りが3mを超えている木が巨樹。4年間の調査を行い、3108本の記録が完了しました。タンポポ調査は、在来タンポポに魅了され調査を行い7種の在来タンポポを発見しました。調査から見えてきたのは、自然と人の多様な繋がりでです。



## 京都府立宮津天橋高等学校

### フィールド探究部② 大手川探検隊

人、川、ハッピー ～大手川の手がかり～

大手川を長く市民に愛されるような川にすることを目標に活動を始めました。調べていくと絶滅危惧種の魚がいることや行政と住民が一緒になって作りかけていた親水公園があることなど、川を魅力的にするヒントが多くあることを知りました。私たちは、親水公園の再生に着手し、おさかな図鑑の制作などを計画しました。大変な管理をどう続けていくか、模索しています。

